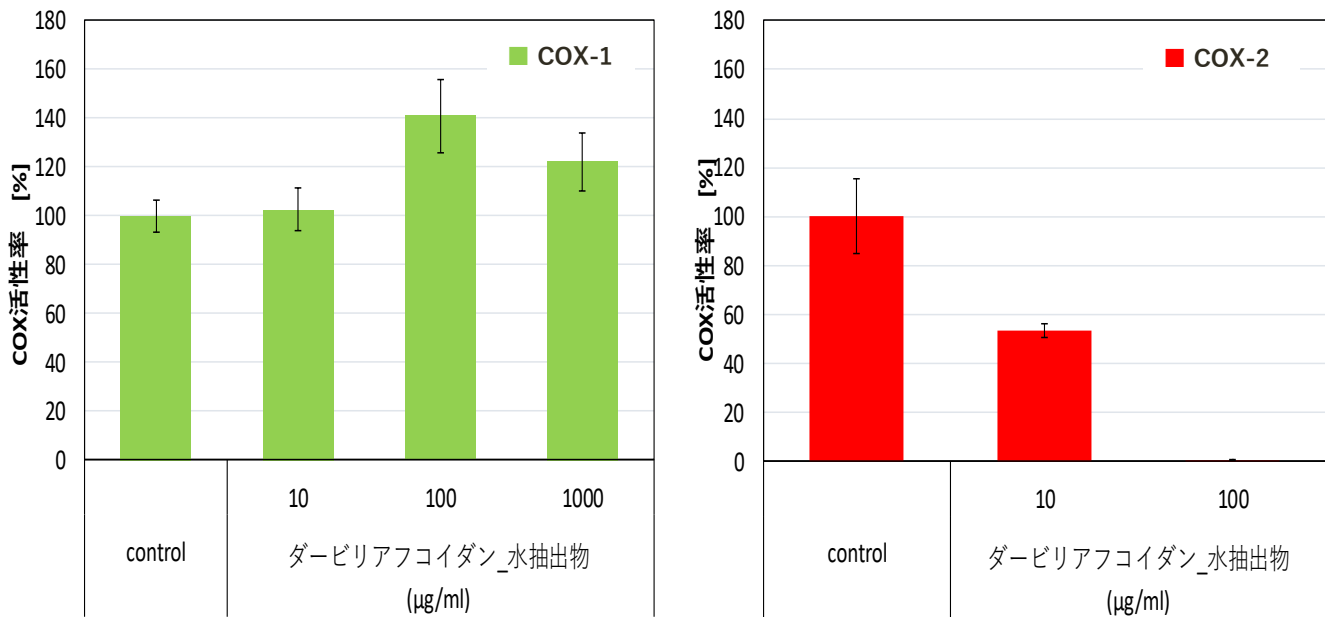


COX（シクロオキシゲナーゼ）阻害試験



〈資料；九州大学〉

ダービリアフコイダン（水抽出物）添加により、炎症誘導型であるCOX-2のみ阻害が誘導された。（10 µg/ml、100 µg/ml）
COX-1においては、このような阻害効果は認められなかった。

※COX-1を阻害すると胃潰瘍や腎臓の障害といった副作用も出現させてしまうデメリットがある。